

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものニーズに合わせてABA(応用行動分析)に則った心理的支援を行っている	ABA(応用行動分析)を使い、子どもの成長・発達に応じた支援を行う。集団だけではなく個別的な要素も取り入れ、心理学的な知見から主に言語発達と社会性の支援に力を入れている。殊更教示を行うことなく、日常生活の中でのABAを行い、日々の生活の延長線上を見据えた上での支援を行っている。	今後も子どもの行動変容に注目して、更に成長発達に寄与する環境を整えて、より成長発達を促す形を整えていきたい。
2	保護者様への日々のコミュニケーション・面談や助言などを行っている	保護者様とコミュニケーションを取ることで、子育てや発達支援等の方向性を一緒にすることを旨とし、特に重要視している。送迎の際に必ず共有を行い、その日の様子だけではなく、長期的な困り感がないかどうかを精査して、その情報を職員と共有しながら、より質の良いサポートに繋げる様に努めている。	今後も保護者様への支援を要望があれば積極的に行い、ペアレント・トレーニングも含めた保護者支援、電話・等を充実させていければと考えている。
3	ペアトレーニング・保護者会の開催を行った	令和7年7月～9月にペアトレーニングを行い、保護者様への子育てや発達支援のフォローを行った。また令和7年12月に保護者会を開催し、事業所だけではなく保護者同士の横のつながりのきっかけを作る機会を設けた。	今後も引き続き開催を考慮のと同時に、ペアレント・トレーニング、保護者会の開催頻度を増やしていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えた対応	来所されているお子様の状態などをみながら避難訓練を検討しているため、全員に行きわたった訓練が行えていない。保護者との連携も含めた避難訓練の実施なども十分ではなかった。行った際にはSNSなどで発信はしているが、より詳しい報告を保護者様にする必要があると考える。	子どもの様子を見ながら小グループでの訓練や導入に重点を置いた訓練などを行う。今後は消防署訪問などの企画も出ているので、積極的に参加しつつも、子どもの負担を考えた訓練や災害の啓蒙を行っていきたく考える。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会について	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行っていなかった。子どもの大きな経験になるという正の側面と、集団参加が苦手という子が負担になってしまうという負の側面の影響などを考えている。自立支援協議会などには積極的に参加をして、それぞれの行事の情報を伝えたり、ホテルでの食事会などの参加・手伝いなどを行った。またグループ内においてアワード	子どものニーズに合わせて、また地域への参加という地域支援の視野は必須と考える。様々な行事には積極的に参加をしたいと考えている。イベント等、十分に告知が行われていない様に感じられるので、その部分に関しても強化していきたい。
3	定期的にHPやSNSなどで、活動概要や行事予定の情報発信することについて	HP、Instagramなどで発達支援の状況やイベントなどの情報発信をしているが、若干弱い分野で、十分に周知が出来ていない場面もあった。	週何回と上げる回数を決めた上で、イベントなどは資料配布だけではなく、SNSにも絶えず上げるなど、PRが必要と感じられる。また活動概要などだけでなく、発達支援方法などのお役立ち情報を上げることで、より周知する工夫をしていきたい。